

7/15 (月) 明光中学校野球部 OB による現役応援

2009年に明光中学校野球部OB有志で結成された野球チーム「MEIKO」。「還暦まで楽しく健康に、親睦を深めて野球をプレーすること」を目標とする同チームは、明光中学校野球部にボールなどを寄贈をする傍ら、町の野球大会への参加や、現役野球部との交流試合の実施など、精力的に活動しています。

今年は7月15日に交流試合を実施し、ボールバックや簡易テントなどを寄贈しました。「ぜひ県大会へ進めるよう頑張ってください。」と激励する先輩に対し、主将の菅谷匠吾君(2年生)は、「日々の練習に熱心に取り組み、新人戦では県大会出場を目標に頑張ります。」と応えました。



7/18 (木) 花いっぱい地域づくり
花と緑の環境美化コンクール

茨城県と環境保全茨城県民会議では、地域住民や児童生徒の環境美化に対する意欲を高め、きれいな地域づくりを促進するため、花と緑の環境美化コンクールを実施しています。

今年度のコンクールには4部門20団体が参加し、色とりどりの花壇を披露しました。



7/18 (木) 「親子で遊び、親子で学ぼう」

茨城県更生保護女性会(永井えみ子会長)が、「親が変われば、子どもも変わる運動」を推進する社団法人茨城県青少年育成協会より感謝状が贈られ、その報告に茨城県役場を訪れました。

同会では、「親子で遊び、親子で学ぼう」をテーマに、農作物を使った農の生け花や、礼儀作法を学ぶお茶会などを青少年育成茨城県民会議の支援により実施。これは、親子で参加することにより、日頃見えなかった子どもの成長を感じ取って、親としての関わり方を顧みるきっかけとすることを目的としています。これらの活動が親子の絆を深め、青少年の豊かな心と健やかな身体を育むと評価されました。



7/20 (土) ひぬま流域クリーン作戦を実施

「クリーンアップひぬまネットワーク」と「大好きいばらき県民会議」は、濁沼及び濁沼流域の水質浄化実践活動の一環として「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。主催者の一人、大好きいばらき県民会議の幡谷浩史理事長は、「ごみを捨てない、捨てさせないということを、一人ひとりから発信してほしい。」と当日集まった地元企業・団体・高校生・地域住民など約400名の参加者に訴えました。この作戦の結果、燃えるごみ32袋、燃えないごみ16袋などが回収されました。



6/30 (日) 社会を明るくする運動 街頭キャンペーン
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

茨城県では、保護司会や更生保護女性会、民生委員児童委員協議会など、様々な団体と協力して、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築くため「社会を明るくする運動」を推進しています。

7月の同運動強化月間を迎えるにあたり、イオンタウン水戸南(長岡)において、街頭キャンペーンが実施されました。この日は前述の各種団体のほか、町内3中学校の生徒たちも参加。開会式では、同運動の推進委員長でもある小林町長が「みんなで力を合わせて、まちを安心して暮らせる場所にしよう。」と呼びかけました。



7/4 (木) 長岡第二小学校
「小平記念教育資金」を学力向上部門で受賞

茨城県立長岡第二小学校(写真左は贈呈式の翌日に、受賞の報告のため茨城県役場を訪れた西田校長)が、「小平記念教育資金」を学力向上部門で受賞しました。

「小平記念教育資金」とは、(公財)小平記念日立教育振興財団(日立製作所創業者 小平浪平翁を記念し、教育の振興に寄与することを目的として設立された公益財団)が、健康で豊かな心をもつ児童・生徒を育て、基礎教育の振興を図ることを目的に、県内の小・中学校を対象に教育資金の贈呈を行うもので、毎年5つの部門で県内各1校が選ばれています。

長岡第二小学校では、「算数科における学力向上」のために、少人数指導や、1年生からの内容を段階的に復習することができる、教員手作りの「ステップアップ問題」を活用してつまずきの解消を図るなど、児童にとってわかる授業の実践に取り組んできました。その結果、顕著な学力向上が見られ今回の受賞となりました。



7/14 (日) 水戸ホーリーホック VS ファジアーノ岡山
熱戦! 「茨城町の日」

水戸ホーリーホック推進協議会では、近隣市町村の住民を無料で水戸ホーリーホックの試合に招待するなどの「市町村の日」を実施しています。

「茨城町の日」のこの日、ケーズデンキスタジアム水戸(水戸市小吹町)において水戸ホーリーホックとファジアーノ岡山が熱戦を繰り広げ、訪れた観客を楽しませました。当日の入場者数は4,020人。梅雨明けの夏の暑さにも負けず、両チームを応援する声があふきました。

試合前には、町内のサッカー少年団のエキシビジョンマッチが行われ、プロが使うグラウンドの感触を楽しみました。また、少年団の選手たちは、選手入場の際に選手を先導する旗の持ち手も担当するなど大活躍でした。

試合結果は、水戸ホーリーホックがファジアーノ岡山を1-0で下し、サポーターの応援に応えました。

